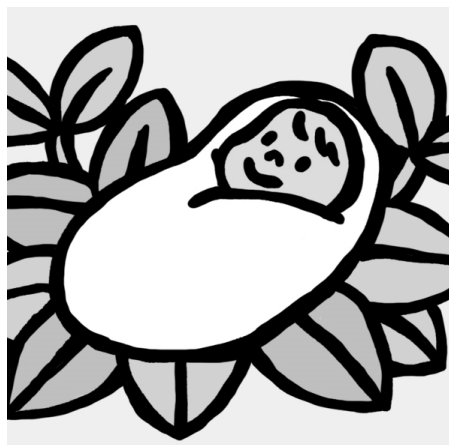


しんねん
新年



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 3・1～15

新しく生まれる

だれでも新しく生れなければ、
神の国を見ることはできない。

ヨハネ 3・3

目標

新生の必要を知り、キリストを
信じて新生の恵みをいただく。

1月3日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 3・1～15

だれでも新しく生れなければ、神の
国を見ることはできない。 3節

「赤ちゃんが生まれました！」とてもうれしい
ニュースです。お母さん、ご苦労様ですね。そ
して、「不思議だなア、素晴らしいなア、新し
い命の誕生」と思います。きょうのイエス様の
み言葉はもっと不思議で、もっと素晴らしいで
すよ。どんなにかわいい赤ちゃんも、教えなく
ても罪を犯す子どもになります。でもイエス様
を信じて新しく生まれると、心に清い命が与
えられて、罪を犯さない人になります。さらに、
何歳の人でも、新しく生まれることができるの
ですから！

祈り 天のお父様、あなたの支配される清い神
の国の命をいただくために、罪を悔い
改めてイエス様を信じたいです。

1月4日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 3・1～2

パリサイ人のひとりで、その名をニ
コデモというユダヤ人の指導者が
あった。 1節

真昼、ニコデモさんを見る人たちはみんな、
「ああ、何て立派なお人だろう。ああいう人
になりたいものだ」と、思ったり、言ったりして
いたことでしょう。そのニコデモさんが、夜、
イエス様をたずねてきました。ニコデモさんは
律法もよく知っていたし、物事もよくわかる
リーダーでしたが、イエス様の内にある、自分
にないものに気づいたのでしょう。神様が共に
おられる不思議な力を感じたのでしょう。イ
エス様のもとに来るのは一番良い事です。

祈り 天のお父様、立派と思える人でも一番大切
な神の国の命が必要で、イエス様を求
める人々が起こされますように。

1月5日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 3・9

あなたがたは新しく生れなければ
ならないと、わたしが言ったからとて、
不思議に思うには及ばない。 7節

「だれでも新しく生まれなければ」とか、「あ
なたがたは新しく生まれなければならない」と
聞くと、「エッ？ 人がわたしのようになを取っ
て、また生れることがどうしてできますか？ も
う一度、お母さんのお腹にはいつて生れること
などできないでしょう」とニコデモさんが言い
ましたが、私たちだってそう思ってしまうす
よね。「それはちょうど風のようにです。どこから
来てどこへ行くかわかりませんが、霊から生ま
れる人もそうなのです」と言われても……。

祈り 天のお父様、ニコデモさんのようにわた
しも全く同じで、「どういうこと？」と
さっぱりわかりません。よく教えてください。

1月6日(水)

聖書
聖句

ヨハネ 3・10～15

ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。 14節

首をひねっているニコデモさんに、イエス様は、モーセと荒野の蛇のことを話されました。旧約聖書に詳しいニコデモさんは、「ああ!」ってわかってきたのです。荒野でつぶやいて、火の蛇にかまれて、毒が回って死にそうな人々が、モーセがあげた青銅の蛇を仰いで見て、生きた!という話でした。「そうか、イエス様はあの青銅の蛇のように十字架にあげられるのか。そのイエス様を仰いで新しく生まれ変わるのだ」とね。ニコデモは新しく生まれたのです(ヨハネ 19・39)。

いのちの祈り 天のお父様、わからないわたしたちにもわかるように、霊の大切なことを教えてください。さることをありがとうございます。

1月7日(木)

聖書
聖句

民数記 21・4～6

へびは民をかんだので、イスラエルの民のうち、多くのものが死んだ。 6節

しんどくなったり、だるくなると、イスラエルの民はいつも神様とリーダーのモーセに、ぶつぶつ文句や不平をならべてました。あなたは大丈夫ですか? せっかく与えられている天からのマナにも、「もうあきあきしました」って。全く、あきれてしまいます。神様は仕方なく、火のへびを民のうちに送られました。おお、恐ろしい! そのへびは民を次々にかんで、多くの民がバタバタ死んだのです。これは今も罪をもつて魂が死んでいる人々をさしているのです。

いのちの祈り 天のお父様、生まれつきのままの人の姿がよくわかりました。だれもみな、新しく生まれなければならないのですね。

1月8日(金)

聖書
聖句

民数記 21・7～9

すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。 9節

まっ青になって、民はあわててモーセのところに言って叫びました。「モーセさん、そして神様、つぶやいて罪を犯してごめんなさい。モーセさん、どうぞ神様がへびをわたしたちから取り去られるように祈ってください」。神様はモーセに、「青銅のへびを造って、さおのうへにかけられるように、それを見て生きるように」と言われました。モーセがさおのうへに掛けたその青銅のへびを、仰いで見た者は生きたのです。十字架のイエス様を仰いで新しく生まれるのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉のとおり、十字架を仰ぐと、霊の働きで不思議に新しく生まれることができること、感謝です。

1月9日(土)

聖書
聖句

Ⅱコリント 5・17

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。 17節

「だれでも」です。どんな人でもです。お年寄りも、壮年も婦人も、若い人も子どもも、貧しい人も富む人も、どこの国の人であっても、博士も普通の人も、大罪を犯した人でも、まじめと見える人でも、キリストにあるならば、その人は「新しく造られた者」なのです。つまり、キリストの十字架の前に罪をおわびし、身代わりの十字架を信じるならば、です。新しく清い命に生まれ変わった者なのです。すべてが新しくなりました!

いのちの祈り 天のお父様、あなたの新しい命をいただくことこそ、すべての人にとって一番の幸せであることを信じます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記 37・5～11

ヨセフ①

人は心に自分の道を考え計る、しかし、その歩みを導く者は主である。

箴言 16・9

目標

神がご計画をもって自分の生涯を導かれることを覚え、生きる。

1月10日（日）

聖書
聖句

箴言 16・9

人は心に自分の道を考え計る、しかし、その歩みを導く者は主である。
箴言 16・9

人はだれでも、自分の人生が「ああなればいいな」と思っていて、そうなるように一生けんめいです。でも、思ったような大人になれない人だっているね。その方が多いかも…。

人生は、ときどき「自分の思いどおりにいかないこと」を学ぶ学校みたいなもの。その人生の中で、やっぱり真の神様がいないと人は生きていけないし、あなたの人生をすばらしいものにしてくださるのは神様だと学ぼう。そして今どんなことが起きていても、神様の大きな計画が未来にあるって信じて行こうね。

祈り

天のお父様、わたしの未来を知り、計画をしてくださるあなたを信じます。

1月11日（月）

聖書
聖句

創世記 37・5

ある時、ヨセフは夢を見て、それを兄弟たちに話したので、彼らは、ますます彼を憎んだ。

5節

今日から、ヨセフという人のお話だよ。

ヨセフは、ヤコブの12人の子どもの中では下から2番目。お父さんはヨセフがかわいくてしかたありません。でも、ほかの兄弟は、一番かわいがられるヨセフが憎かったみたい。

ヨセフには人とちがうところがありました。夢を見て神様のご計画を知ることができたのです。でも、兄弟たちはヨセフの夢の話聞いて、ヨセフのことをもっと憎いと思ったというのです。

祈り

天のお父様、今日からヨセフの話です。あなたがヨセフの人生を導くのを見て、たくさん学べますように。

1月12日（火）

聖書
聖句

創世記 37・6

どうぞわたしが見た夢を聞いてください。

6節

人にはいろんな性格があるよね。やさしい子、明るい子、暗い子、いたずらっ子…。ヨセフはどんなだったか想像してみよう。

お父さんにいちばん愛されていたヨセフ。兄弟に嫌われているはずなんだけど、よくわかっていなかったのかな？ととてもうれしそうに、じまんみたいに夢のことを話しちゃった。

本当は、言葉も行いも気をつけられたいいんだけど、どんな人もカンペキではないね。でも、そういうことも、神様は知っていて、正しい人になれるよう導いてくださるよ。

祈り

天のお父様、わたしも、カンペキじゃなくて失敗ばかりですが、あなたが正しく導いてください。

1月13日（水）

聖書
聖句

創世記 37・7

わたしの束が起きて立つと、あなたがたの束がまわりにきて、わたしの束を拝みました

7節

ヨセフの見た夢は、ヨセフが畑で束を束ねていたとき、自分の束のまわりに兄弟の束ねていた束が来て拝んだというものです。

わたしたちが見る夢は「ああなったらいいな」とか「こうなったらどうしよう」という思いからくるけれど、ヨセフの夢はちがったんだ。

その夢は神様が見せた、ヨセフの将来の姿。兄弟たちが、将来ヨセフを拝むようになるという意味だったんだね。

いの
祈り

天のお父様、ヨセフに、夢の中でとくべつな計画を見せられたあなたのすばらしさを賛美します。

1月14日（木）

聖書
聖句

創世記 37・8

彼の夢とその言葉のゆえにますます彼を憎んだ。

8節

かわいそうなヨセフ！夢のことを話したらもっと嫌われちゃったね！

なんで神様はヨセフに夢を見せたんだろう？夢さえ見なければお兄さんたちに話さずにいられたのに。夢の話をしなければこんなに嫌われなくてもよかったのに。

でもね、神様はふしぎなお方。人間が「どうして？」と思うような出来事も、神様のご計画の始まりなのかもしれないね、ヨセフみたいに。

神様のご計画はわたしたちの想像をはるかに超えているね！

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしたちのために持っておられる計画も、想像をはるかに超えてすばらしいと信じます。

1月15日（金）

聖書
聖句

創世記 37・9～10

わたしはまた夢を見ました。日と月と十一の星とがわたしを拝みました。

9節

ヨセフは、神様によってまた夢を見ました。ときどき、神様に信じて生きるわたしたちも、まわりの人から見れば「夢見る人」みたい。神様なんか信じて、聖書の言葉なんか聞いて、「夢見てるんじゃない？」って嫌われることもあるかもしれない。

でもね、神様と神様の言葉とは真実で正しいことを、信じて生きてきた人たちが証明しているよね！

み言葉によって夢を見よう！

いの
祈り

天のお父様、あなたは真実で正しいお方です。わたしも、あなたのみ言葉によって夢を見ます！

1月16日（土）

聖書
聖句

創世記 37・11

しかし父はこの言葉を心にとめた。

11節

すべてのできごとを心にとめられる人であってほしいと思います。そう、すべてのこと。

うれしいだけでなく、怒りたいようなこと、泣きたいようなこともぜんぶだよ。

ふつうなら「悲しいことなんかわすれちゃいなよ」ってお友だちははげましてくれるかもしれないね。でも、もしあなたが心の中に「このできごとにもきっと意味があるはず」と、心にとめて生きていくとき、その意味を知る日がかならずやってくるのです！そして、それは神様に感謝をささげる日になるよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしも、色々なできごとを心にとめて、いつかその意味を知る日に、あなたに感謝をささげます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記39・19～23

ヨセフ②

主がヨセフと共におられたからである。主は彼のなす事を榮えさせられた。創世記39・23

目標

どんな状況の中でも神が共におられることの幸いを知る。

1月17日(日)

聖書
聖句

創世記39・23

主がヨセフと共におられたからである。主は彼のなす事を榮えさせられた。23節

神様がいっしょなら、毎日なにがおきてもどんなに心強いかわかるかな？

わたしたちは弱くてまちがいの多い人間だから、しつばいやこまったこともたくさん起こすよね。そして「神様はわたしとはいっしょにはいてくれないよ！」なんて思ったりすることもあるかもしれないね。

でもね、そんなときこそ心から神様にたより、祈り、自分から神様に近づくチャンスなんだよ。神様があなたといっしょにいて、あなたのマイナスをプラスに変えてくださるよ！

いのちの祈り

天のお父様、つらいときやこまったときこそ、あなたがいっしょにいてわたしのマイナスをプラスにしてください。

1月18日(月)

聖書
聖句

創世記 39・19

主人はその妻が「あなたのしもべは、わたしにこんな事をした」と告げる言葉を聞いて、激しく怒った。

19節

ヨセフは、エジプトの王様に仕えるポテパルの家の奴隷になりました。神様がいつもヨセフを祝福してくれたので、信頼され、家のすべてをまかされるようになりました。でも、ポテパルの奥さんはヨセフがかっこよかったので、いつもゆうわくしてきました。ヨセフがポテパルにも神様にも罪をおかさないように逃げたら、奥さんはウソをついてポテパルをはげしく怒らせてしまったのです。

神様は本当のことをちゃんと知っているよ！

いのちの祈り

天のお父様、ポテパルの奥さんみたいにひどい人がいても、ちゃんとあなたが知っていてくださるから感謝です。

1月19日(火)

聖書
聖句

創世記 39・20

ヨセフの主人は彼を捕えて、王の囚人をつなぐ獄屋に投げ入れた。

20節

本当なら、ヨセフは死刑になるところだったけれど、ポテパルはヨセフを死刑にしないで、つかまえられた人たちが入れられる場所に入れたんだ。もしかしたら、ヨセフが悪いことをする人間ではないって知っていたのかも。

それでも、人間はいつ、だれの味方につかわからないものだし、ガラッと態度を変えてしまうもの。そして、それをどうすることもできないことだってあるね。

決して変わらないのは神様だけ！

いのちの祈り

天のお父様、人間はいつか変わってしまうこと、どうにもできないこともあることを知りました。ただいつも変わらないあなただけに信頼します。

1月20日（水）

聖書
聖句

創世記 39・21

主はヨセフと共にいられて彼にいつくしみを垂れ、獄屋番の恵みをうけさせられた。 21節

お兄さんたちに売られて奴隷になったときも、こうしてポテパルの家から獄屋に入れられたときも、神様のヨセフへの態度は変わることがありませんでした。

こんなわたし、こんなときには、神様がいつしよにいてくれるはずがない、と思うのがわたしたち。でも、ちがうだね。どんなに人や出来事が変わり、大切なものを失ったときでもそばにいてくださる、それが神様なんだね。

その神様の前で、あなたも変わらないで歩んで行くことがたいせつだね。

いの
祈り

天のお父様、ずっと変わらないあなたの前で、わたしも変わらないで生きていきますように。

1月21日（木）

聖書
聖句

創世記 39・22～23

獄屋番は彼の手にゆだねた事はいっさい顧みなかった。 23節

獄屋に入れられたヨセフを、神様が守り、祝福してくださったので、フシギなことが起きました。なんと、そこにつかまえられて入れられている、すべての人たちをまかせられたのです！ヨセフもきつとびっくりしたよね。

神様を信じて生きるとき、あなたの生き方や考え方が、神様に喜ばれるものになっていくけれど、それって周りの人にも伝わるんだよ。「ああ、この人は信じられるな、素晴らしい人だな、なにかほかの人とちがうな」そんな風に思ってもらえる神様の子どもでいたいね。

いの
祈り

天のお父様、わたしも、あなたの子どもであることがまわりの人に伝わるくらい変えられていきますように。

1月22日（金）

聖書
聖句

創世記 39・23

主は彼のなす事を栄えさせられた。 23節

どうすればヨセフのように、どこにいても、どんなときも成功できるんだろう？

聖書はね、悪いことを計画したり、人をばかにするような友達といつしよにいたりしないで、いつも神様の教えを心に思いながら、喜んでしたがう人が成功できるって言ってるよ。

もし、辛いことがあって、今はどうなるかわからないときでも、見ていてくださる神様の前で、自分のやらないといけないことを一生けんめいしていこうね、ヨセフのように！

いの
祈り

天のお父様、わたしも、どんなときも自分にできることを一生けんめいしていきます。あなたがいつしよにいてくださるからです。

1月23日（土）

聖書
聖句

ローマ 5・3～5

それだけではなく、患難をも喜んでる。 3節

時代がちがうけど、パウロという人は、どんな苦しみの中でも喜んでるって言いました。

それは、イエス様の命を与えるほどに、わたしたちを愛してくださる神様が、もう永遠の苦しみから救ってくださったと知っているから。そして、今、苦しみがあっても、自分の力でがんばるのではなくて、神様を信頼するとき強くされることがわかったから。

神様は、あなたにも同じ愛と力をくださるよ。そして、その約束はぜったい変わらないよ。神様といつしよに、どんなときも歩むあなたでいてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、変わらない約束をいただいで、あなたと歩んでいきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記41・37～49

ヨセフ③

われわれは神の霊をもつこのよう
な人を、ほかに見だし得よう
か。

創世記41・38

目標

聖霊を宿し、聖霊に導かれる
生涯の幸いを覚える。

1月24日（日）

聖書
聖句

創世記41・38

われわれは神の霊をもつこのよう
な人を、ほかに見だし得ようか。

38節

「あなたってすごいね！」と言われて「エッ
ヘンそうでしょ～わたしってすごい」と思う
のがふつうの人。でも、「あなたの信じている
神様ってすごいね！あなたをそんなふうにし
てくれる神様はほかにはいないね！」と言われ
ることほど、神様を信じている人が言われてう
れしいことはないよね！あなたの中に生きて
働いてくださる、神様の霊を見てほしいね。

そのために、神様を信じていることや、神様
がしてくれたことを、だれかに伝えられるあな
たでいてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、自分がほめられたときに、
あなたがくださるたくさんの祝福をお
話できる子どもにしてください。

1月25日（月）

聖書
聖句

創世記 41・37

この事はパロとそのすべての家来
たちの目になかった。

37節

ヨセフの夢を解きあかす力で、王様の夢の
意味も、どうすれば良いかもわかったので、エ
ジプトの王様も家来たちもなっとくです！

わたしたちも、知らない人の前に立たされて
色々聞かれることがあるでしょう。そういう
人たちをなっとくさせる話は、自分の力では
できないね。でもね、神様の霊をもらうなら、
神様が聖書の中からどう教え、どう導いてく
ださるかははっきりとわかるようになるよ。

そして、それにしたがっていくときに知恵や
勇気があふれだすよ！

いの
祈り

天のお父様、人をなっとくさせるほどの
知恵や勇気が、あなたの霊をいただいて
あふれ出しますように。

1月26日（火）

聖書
聖句

創世記 41・39

神がこれを皆あなたに示された。あ
なたのようにさとく賢い者はない。

39節

ヨセフは、自分の知恵が神様にもらったもの
だということをわかっていました。

そして、そのことをはっきりとまわりの人にも
言える人でした。「これは自分の知恵です」
なんて、エラそうに言うことも出来たかもしれ
ないけれど、そうしなかったんだ。

神様の霊をもらえる人、その力がはたらい
てくださる人って、神様の前でいつも自分を低
くし、すなおにできる人だよ。

いの
祈り

天のお父様、知恵や力をくださるあな
たの前に、エラそうにしない、すなおな
心で過ごすことができますように。

1月27日（水）



創世記 41・40～43

「わたしはあなたをエジプト全国のつかさとする。」 41節

とうとう、ヨセフはエジプトで2番目に偉い人になったのです。昨日までは奴隷、囚人だったのに！そんなことが起きるなんて、ミラクル！神様がしてくれたとしか言えないね！

王様は、自分がヨセフをえらんだと思っているかもしれないけれど、エジプトの王様の心も動かすほどの神様の力が、働いていたことを忘れてはいけませんよ。

ヨセフがそうだったように、神様の霊が、あなたをとおして、たくさんの人の心や考えや行いを変えていきますように。

いの

天のお父様、王様の心も動かすほどのあなたの霊が、わたしをとおしても働いてくださいますように。

1月28日（木）



創世記 41・44～45

あなたの許しがないければエジプト全国で、だれも手足を上げることはできない。 44節

王様がヨセフの中に、目には見えないけれど生きて働く神様の霊を見たので、ヨセフには、エジプトでの最高の権力が与えられました。

そして、エジプト人の名前と、エジプト人の地位の高い家から、お嫁さんをもらいました。

こうして、ヨセフはエジプトの国中で仕事をするようになったのでした。だれもヨセフのことを、エジプト人が嫌っていたイスラエルの羊飼いだとは思いません。心配せずに、神様の大きな守りの中で過ごすことができましたのです。

いの

天のお父様、ヨセフを守られたあなたの大きな守りの中で、安心して過ごせますように。

1月29日（金）



創世記 41・46

ヨセフがエジプトの王パロの前に立った時は三十歳であった。 46節

ヨセフは17才のときにエジプトで奴隷になったので、13年もの間、苦しくて辛い生活をしてきたことになるね。

でも、最初は自信たっぷりでお兄さんたちを思いやることができない人だったのに、奴隷の生活の中で、人のために働くことや、人を気づかうこと、神様がどんなときもいっしょにいてくださることが心からわかる人にされたよ。

きっとその13年はヨセフがエジプトですばらしい働きができるようになるための訓練だったし、必要な時間だったんだね！

いの

天のお父様、苦しい時間も、未来のわたしのために必要な訓練であることを教えてください感謝します。

1月30日（土）



創世記 41・47～49

ヨセフは穀物を海の砂のように、非常に多くたくわえ、量りきれなくなったので、ついに量ることをやめた。 49節

ヨセフは、豊作の7年間に、その後にくる7年の飢きんのじゅんぴをしました。畑はどこも豊作で、どの倉庫もあふれるほどでした。飢きんが起きてもだいじょうぶ！

もし、ヨセフに神様の霊が働いてくださらなかったら、飢きんのじゅんぴができないだけでなく、エジプトの国は滅びていました。

それだけではなく、エジプトにたくわえた作物で、まわりの国、ヨセフの家族も救われることになったのです。神様の計画はすごいね！

いの

天のお父様、あなたの知恵や計画は人間にはないものです。あなたに従って行きます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記45・1～15

ヨセフ④

それゆえわたしをここにつかわしたの^{かみ}はあなたがたではなく、神です。

創世記45・8

目標

摂理の御手で最善に導かれる神を信じる。

1月31日(日)

聖書
聖句

創世記45・8

それゆえわたしをここにつかわしたの^{かみ}はあなたがたではなく、神です。
8節

運命^{うんめい}ってわかる？自分の力^{じぶん}で変えることができない人生^{じんせい}の道^{みち}のこと。なにか悪いことが起きて^{おこ}ても、運命だからしかたないやっ^{あきらめ}てあきらめる人生だね。でも、ヨセフの人生は運命の人生ではなく、神様の摂理^{せつり}を信じる人生なんだ！

それは、神様が、わたしたちの命^{いのち}もすべてのことも支配^{しはい}していて、ご計画^{けいかく}の中で生かしてくださると信じる人生のことだよ。どんなことが起こっても、神様が一番^{いちばん}良いようにしてくださると信じられる人生を生きていきたいね。

いの祈り

天のお父様、わたしも、あなたの摂理を信じる人生を生きたいです。

2月1日(月)

聖書
聖句

創世記 45・1～3

わたしはヨセフです。

3節

ヨセフがたくさん^{たくさん}の作物^{さくもつ}をたくわえていたので、周りの国^{くに}の人たちが作物^{さくもつ}を買いにエジプトに^き来ました。その中^{なか}に、ヨセフをエジプトに売^うったお兄さんたちもいたのです。そういえば、昔^{むかし}見た夢^{ゆめ}のことがありましたね。お兄さんたちがヨセフにおじぎをするようになるって！

お兄さんたちも、ヨセフがエジプトで二番目^{にばんめ}に偉い人^{えらいひと}になっていることを知らなかった^しので、ヨセフが名前^{なまえ}を言ったとき、きっと恐^{こわ}くなったし、仕返し^{しかえし}されてもしかたないと思^{おも}ったでしょうね。けれども、これが、神様の用意^{ようい}された「時^{とき}」だったのでした。

いの祈り

天のお父様、あなたが用意される「時」があることを、わたしも信じます。

2月2日(火)

聖書
聖句

創世記 45・4～5

神は命^{いのち}を救^{すく}うために、あなたがたよりさきにわたしをつかわされたのです。
5節

お兄さんたちにエジプトに売^うられたヨセフ。でも、もう怒^{おこ}っていませんでした。ヨセフには、その意味^{いみ}が神様のご計画^{けいかく}だったことを、はっきりと分^わかっていたからです。

若いとき^{わか}のヨセフにはわからなかっただろうね。でも、長い時間^{ながじかん}の中で、神様がヨセフをかしこく成長^{せいちょう}させてくれました。そして神様は、お兄さんたちも、お父さんや兄弟^{きょうだい}のことを大切に思^{おも}う人間^{にんげん}に成長^{せいちょう}させてくださっていました。

あなたにも神様のご計画があるんだよ！

いの祈り

天のお父様、わたしも、はっきりとあなたのご計画の意味^{いみ}がわかるように、かしこく成長^{せいちょう}させてください。

2月3日（水）

聖書
聖句

創世記 45・6～7

神は、あなたがたのすえを地に残すため、また大いなる救をもつてあなたがたの命を助けるために、わたしをあなたがたよりさきにつかわされたのです。 7節

神様は命を救わせる神様ですね。

まだこのときは、エジプトとヨセフの家族だけが飢きんから救われているように見えるけれど、ここからイスラエルの国ができ、イエス様の生まれる時代へとつながっていくのです。

そう考えていくと、神様のご計画はなんて大きいんでしょうね！この、罪だらけの世界の中で、イエス様を信じるわたしたちには永遠の救い、永遠の命があるのだから！

いの
祈り

天のお父様、命を救われるあなたの計画がわたしのところにもとどいていくことを感謝します。

2月4日（木）

聖書
聖句

創世記 45・8

それゆえわたしをここにつかわしたのはあなたがたではなく、神です。 8節

あなたは、お友だちやだれかに傷つけられ、苦しめられるとき、どんなことを考える？

傷つけた人のことを心の中できらったり、せめたり、どこかに行け！って思いますか？

そんなときはヨセフのことを思いだしてください。ヨセフは自分の目ではなく、神様の目で人やできごとを見ていますよ。

あなたを苦しめる人が神様に救われるように、神様は今日もあなたをつかわしておられることをわすれないでね！

いの
祈り

天のお父様、わたしも、自分の目ではなくあなたの目で見ることができますように。だれかが救われるためにわたしをつかわしてください。

2月5日（金）

聖書
聖句

創世記 45・9～13

神がわたしをエジプト全国の主とされたから、ためらわずにわたしの所へ下ってきなさい。 9節

人間は、なんでもできる力やお金があると、それを自分だけで手に入れたような気もちになってしまうね。でも、ヨセフは自分が偉いことも、力があることも、自分で手に入れたとか、自分の自由にしようとは思っていないね。だれかを助けるために使ってるよね。

もし、あなたに力や知恵や宝ものがあるなら、神様にいただいていることを感謝して、困っている人を助けるために使ってくださいね。

いの
祈り

天のお父様、力や宝ものはあなたからいただいたものです。だれかのために役立てられる子どもにしてください。

2月6日（土）

聖書
聖句

創世記 45・14～15

ヨセフはすべての兄弟たちに口づけし、彼らを抱いて泣いた。そして後、兄弟たちは彼と語った。 15節

お金も知恵も力も持っているヨセフだったけれど、きっとこのときまでは心にボカーンと大きな穴が開いていたんじゃないかなあ？

昔はお兄さんたちを思いやれなかったヨセフ、ヨセフをきらいだったお兄さんたち。

神様は、長い長い苦しみやできごとの中で、兄弟どうしの悪い関係を良いものに変えて、本物のなかなかおりをさせてくださったよ。

神様といっしょに歩むなら、わたしたちにもこんな日がくるね！

いの
祈り

天のお父様、わたしもあなたといっしょに歩んで、どんな人とも良い関係になっていきますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 2・1～10

モーセの誕生

信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。

ヘブル 11・23

目標

危機の中で、信仰によって神の助けを求める。

2月7日（日）

聖書
聖句

出エジプト 2・1

さて、レビの家のひとりの人が行ってレビの娘をめとった。 1節

ヨセフの時代から、ながい年月がたちました。そのあいだ、エジプトに住んでいるイスラエル人はたくさんふえました。エジプトの王様は、イスラエル人がふえないように、なんと「生まれた男の子はナイル川になげこめ！」と命令したのです(1章22節もよんでみよう)！

そんな中、イスラエルのレビ族のひとりが、結婚をしました。結婚して、もし男の子が生まれたら、ナイル川になげこまないといけないのに。でも、この夫婦は王様の命令をおそれないで、神様を信頼して結婚したのでした。

いの祈り

天のお父様、わたしが人の言葉をおそれないで、あなたを信頼することができるように助けてください。

2月8日（月）

聖書
聖句

出エジプト 2・2

女はみごもって、男の子を産んだが、その美しいのを見て、三月のあいだ隠していた。 2節

結婚した夫婦に、男の子が生まれました。なんという美しい子！ きっと、この子には神様のとくべつな計画があるかもしれない…と、両親がかんがえるほどでした。王様からは、男の子はナイル川になげこめ！と言われていたけど、そんな命令はまちがっています。両親はこのかわいい男の赤ちゃんを三か月のあいだ、けんめいに隠したのでした。

赤ちゃんを殺すような悪い命令には従わないで、正しい神様のみこころに従う両親だったのです。

いの祈り

天のお父様、わたしも正しいあなたのみこころに従うことができるように、助けてください。

2月9日（火）

聖書
聖句

出エジプト 2・3

しかし、もう隠しきれなくなったので、…子をその中に入れ、これをナイル川の岸の葦の中においた。 3節

赤ちゃんが生まれて三か月。赤ちゃんの泣き声が大きくなって、もう隠せそうにありません。お母さんは、パピルスという植物でかごを編んで、お水が入らないようにアスファルトと樹脂をぬって。その中に赤ちゃんをいれて、ナイル川の草がはえているところに置いたのです。

これいじょうは、赤ちゃんに何もしてあげられません。でも、両親は、赤ちゃんを神様にお任せすることにしました。ほんとうに困ったときは、神様にお任せするのがいちばんです。

いの祈り

天のお父様、困ったときは、ぜんぶあなたにお任せして、あなたに助けていただこうと思います。

2月10日（水）



出エジプト2・4～6

彼女はかわいそうに思ってしまった、
「これはヘブルびとの子供です」。

6節

赤ちゃんのお姉さんが、赤ちゃんがどうなるか見ていました。すると、エジプトの王女がナイル川で水遊びをしようとおりにてきました！あれ、あのかごは何かしら。王女がかごを開けさせると、かわいい男の赤ちゃんが泣いているではありませんか。男の子はナイル川に。王女はそんなことは考えませんでした。かわいそうに…と、赤ちゃんをあわれんだのです。

神様は王女にあわれみの心をあたえてくださいました。神様にお任せすると、神様はいちばんの方法で助けてくださるのです。

いのり 天のお父様、あなたにお任せして、あなたがいちばんの方法で助けてくださることを体験させてください。

2月11日（木）



出エジプト2・7～9

この子に乳を飲ませるうばを呼んでまいりましょうか。

7節

王女が赤ちゃんをかわいそうに思ってくれている！それを見ていた赤ちゃんのお姉さんは、すかさず「この子にお乳をのませる人を呼んでまいりましょうか？」と言いました。王女が「行ってきて！」とお願ひしたので、お姉さんは赤ちゃんのお母さんと呼んできたのです。お母さんは、王女におねがいされて赤ちゃんを育てることになったのです！

神様がお姉さんにすばらしい知恵と勇気をくださったことがわかります。神様にお任せすると、神様は知恵と勇気をあたえて助けてくださるのです。

いのり 天のお父様、あなたが、問題をかいけつする知恵と勇気をくださることを感謝します！

2月12日（金）



出エジプト2・10

彼女はその名をモーセと名づけて言った、「水の中からわたしが引き出したからです」。

10節

本当のお母さんに育てられた赤ちゃん。イスラエル人として、しっかり神様のことをお母さんに教えてもらいながら育ちました。そして、大きくなって、王女のところにたれていかれ、王女の子として王宮でくらすことになったのです。王女は、その子にモーセ（引きだすの意味）と名づけました。

ナイル川に投げこまれるのではなく、王女の子として安全にくらすことになったモーセ。モーセは、神様のすばらしい助けの連続で生まれ育ったのです。きっと、あなたも同じですよ。

いのり 天のお父様、あなたの助けの連続でわたしを育ててくださって、ありがとうございます！

2月13日（土）



ヘブル11・23

信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。

23節

モーセは、このあとイスラエルをエジプトから脱出させるリーダーになります。生まれた時は、ほんとうにたいへんな状況だったけど、両親は神様だけを信じてお任せしました。それでモーセは神様に助けられ、のりこえて、りっぱなリーダーに成長していったのです。

あなたにも、これから「どうしよう！」っていう問題がおこると思います。そんなときは何よりも神様に助けをもとめて任せてください。問題をのりこえたら、神様のすばらしい計画がまっているはずですよ！

いのり 天のお父様、何よりもあなたに助けをもとめて、お任せしていきます。あなたのすばらしい計画を見させてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 6・1～20
ヨシュアとエリコの町
そうすれば、町の周囲の石がき
は、くずれ落ち、民はみなただちに
進んで、攻め上ることができる。
ヨシュア 6・5

目標

人間的な方法でなく、神の方法
によって勝利を得る。

2月14日（日）

聖書
聖句

ヨシュア 6・5
そうすれば、町の周囲の石がき
は、くずれ落ち、民はみなただちに
進んで、攻め上ることができる。 5節

イスラエルの人たちが、大きくて頑丈なエ
リコの町の壁を崩すためにしたことはなんで
しょう？ただ、神様の言うとおりに、壁の周りを
毎日回っただけでした！

わたしたちは、問題が起きると、なんとか
自分で解決しなきゃ！と考えてしまいます。
目で見えるものだけを信じようとします。
でも、もし、あなたが神様を信じるなら、まず
は神様がどう言っているかを知り、神様に従
うことが大切なのです！それが一番の勝利の
近道なんです！

祈り

天のお父様、一番の勝利の近道であるあ
なたに聞いて 従います。

2月15日（月）

聖書
聖句

ヨシュア 6・2
見よ、わたしはエリコと、その王お
よび大勇士を、あなたの手にわたし
ている。 2節

イスラエルの人たちがどうやってもたおせ
ないと思う敵の町。だけど神様は「あなたたち
はもう勝っているよ！」と言われました。

戦ってもいないのに？そうです！

神様は、神様を信じる人にはどんな問題や
悪魔にも勝てる力をくださるお方です。そし
て、あなたの先頭に立って悪魔と戦ってくだ
さるお方だから！

なんでもできる神様が「もう勝ったよ！」と
約束してくれるなら、どんなことにも勇気を
もって立ち向かえるよね！

祈り

天のお父様、どんなことにも勝てるあな
たの力を信じます。

2月16日（火）

聖書
聖句

ヨシュア 6・2
見よ、わたしはエリコと、その王お
よび大勇士を、あなたの手にわたし
ている。 2節

昨日のお話の続き！あなたは、ごはんを食
べる前、学校に行く前、勉強する前、お友だ
ちとあそぶ前、何か大切なことをする前に、お
祈りしますか？

ヨシュアは、エリコの町をたおしに行く前、
神様のお言葉をしずかに聞きましたよ。そして、
心に安心をもらって、今からどうすればよい
か、一つ一つ教えてもらったのです。

聖書の中、お祈りの中から神様の声を聞こう
とするなら、神様は必ずあなたに伝え、安心と
知恵と力をくださることをわすれないでね！

祈り

天のお父様、何よりもまず、お祈りして
あなたのおことばを聞けますように。

2月17日（水）



ヨシュア 6・3～5

六日の間 そのようにしなければならぬ。
3節

「神様にお祈りしたのにすぐに答えてくれない！もうお祈りなんてやめた！」なんて言っている人はいませんか？

神様は、本当に信じて待っているか、そのお祈りが心からのものか、あなたを見ておられますよ。イスラエルの人たちも、神様に「待つこと」、「神様を信じて従うこと」を教えるもなかったんだ。

神様が用意してくださるふしぎなご計画と時とを信じて待てる、そんなあなたでいてくださいね！神様はいちばん良いときにいちばん良いこたえをくださるからね！

祈り 天のお父様、あなたの「時」があることを信じて待ちます。

2月18日（木）



ヨシュア 6・11～14

こうして主の箱を持って、町を巡らせ、その周囲を一度回らせた。11節

神様を信じている人たちがすることを、信じていない人を見ると、どんな風に見えるでしょう？賛美したり、お祈りしたり、聖書を読んだり、何の意味があるの？って思われることがたくさん！でもね、神様を知っている人たちには、どんな風に思われても、それはとっても意味のあることなのです！そして、神様を信じている人たちのすることは、信じていない人たちが悪魔を「あっ」と言わせるふしぎな力を生むのです！

そう、あなたのする全てのことに意味を持たせてくださる、それが神様のすばらしさだよ！

祈り 天のお父様、神様を信じて行うすべてのことがまわりの人や悪魔に「あっ」と言わせる力になりますように！

2月19日（金）



ヨシュア 6・17～18

あなたがたは、奉納物に手を触れてはならない。
18節

あなたは、神様が喜ばれないこと、おきらいになることが何かわかりますか？神様を信じているのに、神様が喜ばれないことをしていませんか？

エリコの町は、本当の神様に従わない、偶像のたくさんいる町でした。沢山の罪があるこの町を滅ぼすと神様がお決めになったので、その町にあるものは一つも自分のものにしてはいけません、と聖書は言っています。

あなたも、神様に従うなら、神様が喜ばないこと、罪だとわかっていることをしてはいけません！あなたもエリコのように滅びないために！という教えです。

祈り 天のお父様、あなたが喜ばないことと罪だと思ふことから離れて生きます。

2月20日（土）



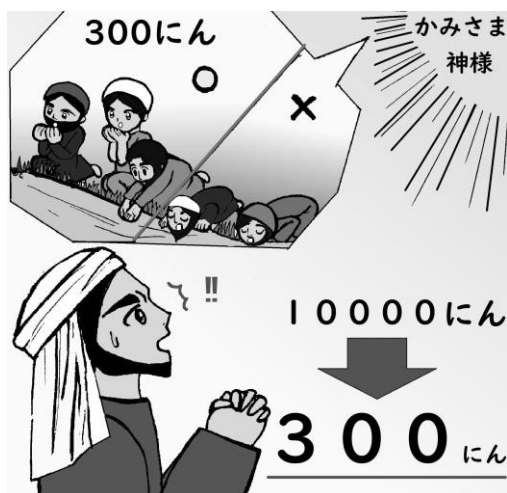
ヨシュア 6・19～20

民はラッパの音を聞くと同時に、みな大声をあげて呼ばわったので、石がきはくずれ落ちた。
20節

武器もあまりなく、戦うための訓練もそんなにしていなかったイスラエルがどうしてエリコに勝てたの？それは、ただ神様が一緒にいて力をくれたから！神様からはなれたらイスラエルは勝てなかったの。神様すごい！

あなたも同じ！あんまり自信がなくて、強くなくても、ただ神様が一緒にいてくださり、あなたが神様の言葉に従っているなら、どこで何をしても恐れずに進んでいけるよ！そして、神様に守られて、悪魔にも勝てる神様の子どもでいられるんだよ！

祈り 天のお父様、私を守り、助け、勝たせてくださるあなたに感謝して毎日を過ごします。



聖書
テーマ
暗唱聖句

士師記7・1～8、16～22
ギデオンの戦い
わたしは水をなめた三百人の者
をもって、あなたがたを救い、ミ
デアンびとをあなたの手にわた
そう。 士師記7・7
自分の力に頼るのではなく、
全能の主により頼む者となる。

目標

2月21日（日）

聖書
聖句

士師記7・1～2
あなたと共にいる民はあまりに多い。
2節

今週はイスラエルの指導者ギデオンのお話
です。ギデオンはリーダーなのに臆病な人で
した。そのころイスラエルは、ミデヤン人に苦
しめられていました。ギデオンは、ミデヤンと
戦うため、32000人をあつめて戦うじゅんぴ
をしました。

ところが、神様はギデオンに「あなたと共に
いる民はあまりに多い」と言われたのです。
臆病なギデオンは、そんな、敵はもっと多い
のに、もっと人がほしいくらいなのに！と思っ
たでしょう。でも神様のお考えは、人間と
正反対のことがあります。

いの
祈り

天のお父様、あなたのお考えがわたしの考
えと正反対でも、あなたに従っていきます
ように。

2月22日（月）

聖書
聖句

士師記7・2～3
民のうち帰った者は二万二千人あ
り、残った者は一万二人であつた。
3節

神様は、「イスラエルは、きっと『自分たち
の力で自分たちを救ったんだ』と言うだろう」
と言われました。ギデオンは、神様の言われた
とおり人々をテストしました。「戦いがこわい
人は帰れ」。するとなんと22000人も帰ってしま
いました！のこり10000人。

神様は、イスラエルが神様ではなく、自分た
ちの力のおかげだ！と誇るだろうと。だから、
神様の力を知るために、人間の力をへらされ
たのです。これも臆病なギデオンが神様の力
を知るための、神様のお考えだったのです。

いの
祈り

天のお父様、わたしが神様をわすれて、自
分の力を誇ることがありませんように。
あなたのお力を教えてください。

2月23日（火）

聖書
聖句

士師記7・4～6
民はまだ多い。彼らを導いて水ぎわ
に下りなさい。わたしはそこで、あ
なたのために彼らを試みよう。
4節

神様は「民はまだ多い」とギデオンに言われ
ました。え、こんなにへったのに？ギデオン
は、神様の言われたとおり、水ぎわに人々をつ
れていってテストしました。人々が、水を犬の
ようになめて飲むか？かがんで飲むか？はた
また、手ですくって飲むか？を見たのです。

そのなかで、手ですくって飲んだのは、10000
人のなかの、たった300人でした。戦いのなか
で用心深く、いつでも神様のご用のために準備
ができていた人たちだったのです。

いの
祈り

天のお父様、あなたはわたしもテストされ
ます。あなたのご用のために、いつでも
準備をしていることができますように。

2月24日（水）



士師記7・6～8

わたしは水をなめた三百人の者をもって、あなたがたを救い、ミデアンびとをあなたの手にわたそう。

7節

神様のテストに合格した300人。神様は「この300人であながたを救う」とギデオンに言われました。敵のミデヤンは何万人もいるのに、イスラエルはたったの300人！しかも手に取ったのは剣や武器ではなくて、つぼとラッパです。ふつうに考えたら、どうしたって勝てるはずがありません。ギデオンもちよつと不安。

神様は、人間の力ではどうやっても無理、という状況にされることがあるのです。人ではなく、神様だけに頼るためなのです。

いの

祈り 天のお父様、わたしが、人の力ではなく、あなたの力に頼っていただけますように。

2月25日（木）



士師記7・16～18

『主のためだ、ギデオンのためだ』
と言いなさい。 18節

ギデオンは、えらばれた300人を三組にわけました。手にもたせたのはラッパ、からっぽのつぼ。つぼの中には燃えるたいまつを入れました。ギデオンは、「わたしと共にいる人がラッパをふいたら、みんなでラッパをふきなさい。そして、『主のためだ！ギデオンのためだ！』と言いなさい」と命じました。

この戦いは、リーダーのギデオンのため、そして何よりも、神様の力をすべての人が知って、神様がほめたたえられるためにあったのです。ギデオンと300人は、そのことをしっかり確認したのです。

いの

祈り 天のお父様、わたしにもいろんな戦いがありますが、それをとおして神様のすばらしさがほめたたえられますように。

2月26日（金）



士師記7・19～21

敵陣を取り囲んだので、敵軍はみな走り、大声をあげて逃げ去った。

21節

その夜300人は、敵陣で思いきりラッパをふき、つぼをバリンバリンとわりました！ミデアン軍は大きな音にびっくり！見ると、くらやみにたいまつがゆれているではありませんか。さらに300人は「主のためのつるぎ！ギデオンのためのつるぎ！」と大声で叫びました。くらやみに大きな音がなりひびき、たいまつがゆれ…。ミデアン軍はおそろしさのあまり「ぎゃ～!!」と大声をあげてにげてしまったのです！

剣も武器も持たないギデオンたち。神様はどんな状況でもかならず勝利をあたえられます。

いの

祈り 天のお父様、わたしがなにも持っていなかったとしても、勝利をあたえてくださることを感謝します！

2月27日（土）



士師記7・22

主は敵軍をしてみな互に同志打ちさせられたので、…タバテの近くまで逃げ去った。 22節

にげていったミデアン軍、それだけでは終わりませんでした。神様はミデアン軍をたがいに同志打ちさせられたのです。味方どうして戦って、ミデアン軍はますますパニックをおこし、逃げていったのでした。何万ものミデアン軍に、ギデオンと300人は大勝利をおさめました！

もし、ギデオンが神様により頼まないで、自分たちの力に頼ったら、32000人でも勝てなかったでしょう。どんな時も、自分の力に頼らず、神様の力により頼みましょう。神様があたえてくださるのは圧倒的な！勝利ですよ！

いの

祈り 天のお父様、自分の力に頼らないで、何でもできるあなたにより頼みます。あなたの偉大な勝利を体験させてください！



聖書
テーマ
暗唱聖句

士師記16・4～6、15～22
サムソン
わたしは生れた時から神にささげられたナジルびとだからです。
士師記16・17

目標

罪から聖別されて、力強い信仰者生涯を送る。

2月28日(日)

聖書
聖句

士師記16・17

わたしは生れた時から神にささげられたナジルびとだからです。17節

イスラエルを苦しめるペリシテに、怪力パワーで立ち向かったサムソンのおはなし！

怪力の秘密はね、サムソンの髪の毛！えっ？

「ナジル人」はね、神様のためだけに働くように特別にささげられた人のこと。心も体もまるごと神様のもの！そのしるしに、髪を切らず、お酒ものまず、死体もさわらないって。

特にサムソンは、髪の毛に神様の大きな力をもらっていたみたい。

それは、神様のために力のいるお仕事をするためなんだけど、サムソンは失敗したみたい！

あなたは、神様からもらった力や能力をどう使いますか？使い方、間違っていないですか？

祈り

天のお父様、あなたからもらった力や能力を正しく使えますように。

3月1日(月)

聖書
聖句

士師記16・4

サムソンはソレクの谷にいるデリラという女を愛した。4節

あるとき、サムソンはデリラを好きになりました。どんな人かも、あとでサムソンを危険な目にあわせる人とも知らなかったのに！

あなたには、好きな人や事があるかな？

「好き」という気持ちはだれにでも起きます。でも、その気持ちは、人の心を正しく考えられなくしてしまうことがあるんだ。どんなに好きな人や事でも、神様ならどう思われ、教えておられるかをいつも心におぼえ、あなたを見ている神様の目をいちばん気にしていないと、あなたもやがてサムソンのようにしっばいしてしまうのです。

祈り

天のお父様、どんな好きな人や事であってもあなたの目を一番気にしていけますように。あなたに従えますように。

3月2日(火)

聖書
聖句

士師記16・5～6

われわれはおのおの銀千百枚ずつをあなたにさしあげましょう。5節

怪力サムソンを殺そうと考えるペリシテびとは沢山！そこでペリシテびとは、デリラにサムソンの力の秘密を調べるように言いました。

普通、恋人の秘密をかんたんにバラす？ところが、デリラはお金の誘惑にはととても弱かったの。お金があればかんたんにサムソンを捨てるし、お金のためなら必死になってサムソンの力の秘密を聞きだす人でした。

悪魔は、人がどんな誘惑に弱いかよく知っていて、神様に従えなくするのが得意です。

あなたは、悪魔の誘惑に負けて神様が悲しむことをしていませんか？神様の喜ばれる道歩いていますか？

祈り

天のお父様、誘惑に負けてデリラのような罪を犯さないようお守りください。

3月3日（水）

聖書
聖句

士師記16・15～17

女は毎日その言葉をもって彼に迫り促したので、彼の魂は死ぬばかりに苦しんだ。 16節

サムソンにとって、髪の毛を失うことは、神様のナジル人であるという約束を捨てること！だから、髪の毛の秘密を話すのは、神様に従って生きるのをやめると同じことです。

それをわかっているのにデリラが大好きで、秘密を話してしまおうか悩んでいました。

罪の世界もおなじ。とても魅力的で、誘惑が上手で、説得力があって、しつこい！罪の世界に従う方が神様に従う世界よりも大切なんじゃないかと思わせます。でも、神様に従う人は決してそれに負けてはいけません！

祈り

天のお父様、どんなに罪の世界の誘惑が魅力的でしつこくても負けません！あなたに従うことをやめません！

3月4日（木）

聖書
聖句

士師記16・17～19

その力は彼を去っていた。 19節

とうとうサムソンはデリラの誘惑に負け、自分の力の秘密を話してしまいました。デリラはサムソンが寝ている間にペリシテびとを呼んだので、彼らはサムソンの髪の毛を剃り落しました。その瞬間、神様からもらった怪力は去って行ったのです。

心のどこかで、その力を自由に使っていたと思ったり、誰も見ていないから少しくらいは悪いことに使っても平気だと思っていたのかもしれない。

あなたはどうか？あなたの命や、あなたの力は自分のもの、自分が好きに使っているものだと思っていないか？それは神様がくださったものですよ。

祈り

天のお父様、自分の命や力はあなたからのものであることを感謝します。

3月5日（金）

聖書
聖句

士師記16・20～21

彼は主が自分を去られたことを知らなかった。 20節

神様のナジル人である約束のしるし、髪の毛がなくなった時、いつも一緒にいて力をくれた神様も、知らない間に離れてしまいました。

サムソンは普通の人ようになったのでペリシテびとに捕まり、ひどい目にあいました。

そのあとやっと、なんのためにナジル人にされたのか思いだし、反省したでしょうね。

いくら神様を信じていると口では言っても、自分を偉いと思う心、平気で罪を犯す心があるなら、神様はその人といっしょにいることはできません。神様がいっしょにいられるのは、罪を悔い改めた心、へりくだった心を持った人だということを忘れないでね。

祈り

天のお父様、いつも悔い改めた心、へりくだりの心ですごせますように。

3月6日（土）

聖書
聖句

士師記16・22

その髪の毛はそり落された後、ふたたび伸び始めた。 22節

神様は、罪を犯したサムソンを見捨てませんでした。自分勝手ばかりして神様を悲しませたサムソンだったけれど、自分がナジル人だったこと、力は神様のものだとわかったのです。そして、心からお祈りしたサムソンに、神様はペリシテびとをたおす大きな力をもう一度あたえたのです。

神様は、罪はおきらいになりますが、心から悔い改める人を決して見捨てず、また立ち上がらせてくださいます。イエス様の十字架を感謝し、神様の愛と憐みに応えて生きていこう！

祈り

天のお父様、失敗しやすい私ですが、悔い改めるときにもう一度立ち上がるようにしてくださる愛と憐みに感謝して生きます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 25・14～30

タラントの譬

良い忠実な僕よ、よくやった。

マタイ 25・21

目標

与えられた賜物を生かして、神に仕える者となる。

3月7日（日）

聖書
聖句

マタイ 25・14～15

また天国は、ある人が旅に出るとき、その僕どもを呼んで、自分の財産を預けるようなものである。 14節

わたしたちには、ひとり一人、違った能力がありますね。勉強の能力！スポーツ。工作がじょうず、絵がじょうず、本読みが得意、などなど…。同じ能力の人はだれ一人いません。え、なにも得意なことがないって？ いいえ、そんな人はいないはず。だって、イエス様は、わたしたちひとり一人にタラントをくださっているんだって、ここでイエス様が言っておられますよ。

もともとイエス様が持っておられたものなんです、あなたにピッタリのタラントをあずけてくださったわけなのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様がわたしにピッタリのタラントをあずけてくださったことを感謝します。

3月8日（月）

聖書
聖句

マタイ 25・16～18

五タラントを渡された者は、すぐに行き、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。 16節

旅にでた主人からタラントをあずかった僕たちは、そのお金でさっそく商売しました。「ご主人様に喜んでほしい！」と、主人を愛して信頼していたからなんです。五タラントの人はさらに五タラント。二タラントの人はさらに二タラントもうけました！ところが、一タラントの人は、タラントを土にかくしています…。

イエス様を愛して信頼していると、イエス様のためによりこんで働く人になるのです。あなたはイエス様のことを愛している？信頼している？

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を愛して信頼していきます。イエス様のために、よりこんで働く人にならせてください。

3月9日（火）

聖書
聖句

マタイ 25・19～23

あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。 21節

旅にでていた主人が、ついに帰ってきました。五タラント、二タラントあずかった僕たちが、「ご主人様。あなたからあずかったもので、さらにもうけました！」とタラントを返しました。主人は「良い忠実な僕よ、よくやった！」とほめて、主人も僕も大喜び！主人は僕たちを信頼して、もっとたくさんのものを任せることにしたのです。

イエス様を信頼して、イエス様のために働くと、こんどはイエス様に信頼されるんですね！とってもステキなかんけい！

いのちの祈り 天のお父様、わたしもイエス様に信頼していただける人になれますように。

3月10日（水）



マタイ 25・24～25

そこで恐ろしさのあまり、行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。 25節

主人と僕たちが喜んでいたところに、一タラントをあずかった僕がきて、隠していたタラントを見せました。そしてなんと、主人にたいて「酷な人」と言ったのです。つまり、こわくてひどい人と言ったのです！商売をして、もし失敗したら、主人にひどくおこられる、めいわくだ、だから何もしない！と思っていたのです。とんでもない誤解です。

この僕、主人をわかっていません。イエス様がどんなお方かわからないと、信頼できなくなってしまうのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様がどんなお方が、もっとわかるようにしてください。いつもイエス様を信頼できますように。

3月11日（木）



マタイ 25・26～28

さあ、そのタラントをこの者から取りあげて、十タラントを持っている者にやりなさい。 28節

主人は、一タラントの僕に「悪い怠惰な僕よ」ときびしく言いました。なまけ者の僕！と言われたのです。主人に愛されて、すばらしいタラントをあずけられていたのに。この僕は、主人を信頼していないし、主人の愛を受けとうともせず、何もしませんでした。主人は、一タラントをとりあげて、五タラントをもうけた人にあずけてしまいました。

すばらしいタラントをあずかっても、イエス様のために最後までなんにもしなかったら、もう、何もまかせてもらえなくなってしまう。

いの祈り 天のお父様、何もまかせてもらえなくなないように、わたしがタラントを用いることができるよう、たすけてください。

3月12日（金）



マタイ 25・29～30

持っている人は与えられて、いよいよ豊かになるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであろう。 29節

「持っている人」というのは、あずかったタラントを用いる人のこと。そういう人は、イエス様からさらに、タラントをあずけられるんです。「持っていない人」は、「役に立たない僕」と言われてしまいます。そんなのいやですね！

今、あずかっているタラントを用いたら、イエス様は、さらにあなたを用いよう！と決めて、タラントをあずけてくださいます。イエス様のためにできることを、イエス様がどんどんふやしてくださるのです。すごい！

いの祈り 天のお父様、イエス様のためにできることを、もっとふやしていただきたいです！

3月13日（土）



マタイ 25・21

良い忠実な僕よ、よくやった。 21節

あなたがもっている能力は、イエス様からあずかったタラントだということが、よくわかりましたね。それは、人にじまんして人にほめられるためではなく、イエス様が喜んでくださるために用いるのです。そして、ふたたびイエス様が地上にもどってこられたとき、お返しするというのを、どうか忘れないでください。

自分は何タラントかな？と気になるかもしれないけど、それはイエス様がきめることなので、気にしない。イエス様のために喜んで用いることが大切です。「良い忠実な僕よ」とイエス様からほめていただきたいですね！

いの祈り 天のお父様、人からほめられるためではなく、イエス様にほめていただけるよう、タラントを用いていきます！



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 25・31～46

最も小さい者のために

わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。 マタイ 25・40

目標

助けを必要とする人々を心に留め、必要な助けをする者となる。

3月14日（日）

聖書
聖句

マタイ 25・40

わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。40節

イエス様はいつもだれの味方だったかな？
だれにも相手にしてもらえない人、心が傷ついていてもなんの文句も言えないような人、病気の人たちだったね。だから、イエス様が天国で見守ってくれているあいだは、イエス様だったらどんな人を助けるかな？どんな人にもやさしくするかな？って考えながら毎日を生きていくことがたいせつなんだ。

イエス様が喜ばれることをするとき、じつはイエス様がしてもらっているようにそのことを喜んでおられるんだね！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の見守りの中で、イエス様が喜んでくださる生き方をしていけますように。

3月15日（月）

聖書
聖句

マタイ 25・31～33

人の子が栄光の中にすべての御使たちを連れて来るとき、彼はその栄光の座につくであろう。 31節

今は天国で見守っておられるイエス様は、もう一度この地上に、王様として帰ってくる日がくることを約束しているんだよ。

それは、クリスマスに救い主となってお生まれになったイエス様や、十字架でわたしたちの罪の身代わりに死んでくださったイエス様ではなく、すべての国の人を集めて右と左にわけると言うのです。

どんな人が神様の国に入るのにふさわしいか、そのときにはっきりするってことだね。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの国に入るのにふさわしい人がもっとたくさん増えますように。

3月16日（火）

聖書
聖句

マタイ 25・34～36

わたしの父に祝福された人たちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意されている御国を受けつぎなさい。 34節

通知表やテストに「はなまる」や「よくできました」があるとほんとにうれしいよね？だって、あなたががんばったしるしもんね！

おなじように、神様が世界のはじめからあなたのために用意してくれている「よくできました＝天国」を知っているかいけないかでは、ゴールがぜんぜんちがうのだということを知っておきたいね。

イエス様を救い主として信じて、神様の子どもとして、ずっと生きていこうね。

いのちの祈り

天のお父様、ずっとあなたの子どもとして生きていきます。

3月17日（水）

聖書
聖句

マタイ 25・37～39

主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。 37節

家族の人や仲のいい友達といっしょにいと、知らない間にどんどん似てくるよね？それと同じで、いのちを捨てるほどにわたしたちを愛してくださるイエス様を知れば知るほど、わたしたちも似てくるんだ。

だれが見ていなくても、だれに褒められなくても、だれもが気づかず通りすぎていく人や出来事でも、しぜんと気づいて当たり前のように助けてあげられる、そんな人になっていきたいと思いませんか？

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の愛や行いに似たわたしになっていきますように。

3月18日（木）

聖書
聖句

マタイ 25・41～43

のろわれた者どもよ、わたしを離れて、悪魔とその使たちとのために用意されている永遠の火にはいつてしまえ。 41節

聖書はね、天国はあるけれど、みんながそこに入るとは言いません。天国と地獄があることを話しているね。

本当は「悪魔とその使たち」を滅ぼすのが地獄なんだって。でも、悪魔の聲に心をうばわれて、イエス様をこばみ続けるなら、最後にはここに行くことになってしまうのです。

神様は、すべての人が永遠の命を持つことを願ってイエス様を送ってくださったことを忘れないで生きていこうね。

いのちの祈り

天のお父様、すべての人が地獄でなく、天国に行くことをえらび取れますように。

3月19日（金）

聖書
聖句

マタイ 25・44～45

これらの最も小さい者のひとりにしなかったのは、すなわち、わたしにしなかったのである。 45節

天国に入りたくても入れない、そんな人の最後の言いわけができたよ。

最初の天国に入った人と何がちがうって？

天国に入れなかった人たちは、神様やイエス様でなく、良いことをしている自分しか頭になかったんじゃないかな？自分にとって都合の良いことをするのが「よい行い」だと思っているのかもしれないね。

自分が満足したり褒められるための行いは神様に喜ばれないってことだね。

あなたはどうか？

いのちの祈り

天のお父様、自分のためでなく、あなたの喜ばれることを行えますように。

3月20日（土）

聖書
聖句

マタイ 25・46

彼らは永遠の刑罰を受け、正しい者は永遠の生命に入るであろう。 46節

世界を見ると、ほんとうにたくさんの種類の人がいるように見えるね。男と女、白人と黒人と黄色人種、お金持ちと貧乏、お仕事だって山ほどあるね。

でもね、神様はそんなたくさんの人たちをたった二種類にしか分けないんだって。

正しいか正しくないか。天国に行くか地獄に行くか。

そして、この神様のルールからはだれも逃げられないし、分けられない人はいないんだ。

だからこそ、生きている間にイエス様を信じて天国行きの約束チケットを持っておくことがたいせつなんだね。

いのちの祈り

天のお父様、天国行きのチケットをもらって感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 27・11～26

真理にしたがって生きる

ピラトはバラバをゆるしてやり、イエスをむち打ったのち、十字架につけるために引きわたした。

マタイ 27・26

目標

この世の力に屈することなく、真理にしたがって生きる者となる。

3月21日（日）

聖書
聖句

マタイ 27・11～26

わたしには、この人になんの罪も見いだせない。ヨハネ 18・38節

わたしたちへの愛に熱く燃えて、十字架に向かわれるイエス様です。ゲッセマネというお祈りの場で、イエス様はすでに、父なる神様のみこころのままに、十字架につけられて死ぬという覚悟と勝利を心の内に秘めておられました。ですから、祭司長たちや、長老たちがさんざん訴えて、不利なことばかり言われても大丈夫でした。総督ピラトでさえ、「この人にはなんの罪も見いだせない」と言うにもかかわらず、十字架にかけられても平安だったのです。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのみこころ、真理に従う人の心は何と確信に満たされることでしょうか。真理に従います。

3月22日（月）

聖書
聖句

マタイ 27・11～14

「あなたがユダヤ人の王であるか」。イエスは「そのとおりである」と言われた。11節

言うべき時に言うべき言葉をハッキリと大胆に言う、言わなくてもいい時には、じっとだまっているということができることは大切です。イエス様はここで、総督ピラトに「あなたがユダヤ人の王であるか」と尋ねられて、「そのとおりである」とハッキリと言われました。でもそのあと、祭司長や長老たちがアレコレイエス様のことを悪い言葉で不利な訴えをしている時には、全くのノー・コメント。ただ沈黙して、不思議なほど一言も答えませんでした。

いのちの祈り

天のお父様、わたしもイエス様にならって、言うべき時と、言わなくてもいいことと時とをわきまえさせてください。

3月23日（火）

聖書
聖句

マタイ 27・15～23

「ふたりのうち、どちらをゆるしてほしいのか」。彼らは「バラバの方を」と言った。21節

過越の祭りというのが近づいてきました。そのたびに、総督は、群衆が願う囚人ひとりをゆるしてやるというのが慣例となっていたので、まずは群衆にたずねました。「だれをゆるしてほしいのか。バラバか、それとも、キリストといわれるイエスか」と。祭司長、律法学者たちに説き伏せられた群衆は答えます、「バラバの方を」。「ではキリストといわれるイエスは、どうしたらよいか」。群衆はいつせいに言いました、「十字架につけよ」「十字架につけよ」。

いのちの祈り

天のお父様、指導者のねたみ、群衆の悪の力は恐ろしく激しいものです。そんな中でも真理に従うイエス様にならいます。

3月24日（水）



マタイ 27・24～26

「この人の血について、わたしには責任がない。おまえたちが自分で始末をするがよい」。
24節

イエス様とは正反対だったのがピラトでした。イエス様には、何の罪も見いだせないままで証言しながらも、祭司長や長老たちの言葉に流され、群衆の力に押されてしまっ、真理の道からはずれてしまいました。なんの罪も見い出せない人を、十字架にかけてしまうのです。ついに暴動になるのを恐れて、ピラトは水で手を洗い、「もはや自分には、この人の血については、責任がない。おまえたちで始末をするがよい」と逃げました。バラバがゆるされました。

いの祈り 天のお父様、真理に従うことは、命がけです。バラバがゆるされたのは、わたしたちと同じく十字架の身代わりによりました。

3月25日（木）



ヨハネ 18・33～40

ピラトはイエスに言った、「真理とは何か」。
38節

「あなたは王なのだ」とピラトに言われて、イエス様は答えました、「あなたの言うとおり、わたしは王である。わたしは真理についてあかしをするために生れ、また、そのためにこの世にきたのである。だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」と。そこで、ピラトはイエス様に言います、『真理とは何か』と。その時には、イエス様も誰も、この間に対して、答えている人はありません。ところが、全く不思議な形で答えがなされるのです。

いの祈り 天のお父様、「真理とは何か」との質問は、すべての人が心に思うところでしょう。みごとに解決しますように。

3月26日（金）



ヨハネ 19・1～6

ピラトは彼らに言った、「見よ、この人だ」。
5節

イエス様は捕えられ、強盗だったバラバがゆるされました。兵卒たちは、長い針のついたいばらで冠をあん、イエス様の頭にかぶらせました。紫の上着を着せて、「ユダヤ人の王、ばんざい」と言い、平手でイエス様を打ちつけました。イエス様がいばらの冠をかぶって、紫の上着を着たままで外へ出られた時、ピラトは言いました、「見よ、この人だ」。ピラトは、「真理とは何か」とたずね、ここで自分で答えています。「見よ、この人だ」と！

いの祈り 天のお父様、真理とは、あなたの御子イエス様なのです。真理に従うとは、イエス様にお従いすることです。

3月27日（土）



ヨハネ 14・1～6

わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。6節

イエス様もすでにここで、ご自分を紹介して、「わたしは道であり、真理であり、命である」と言われています。ですから、真理を知るとは、イエス様を知ること。真理を話すということはイエス様を話すこと。真理に従うとは難しいことではなく、イエス様にお従いすることではないですか！小さいわたしたちも、真理なるイエス様にお従いしていきましょう。そうする中で、きっとサタンのおねたみや邪魔や妨害があるでしょう。でも真理に従いぬきます。

いの祈り 天のお父様、真理なるイエス様を感謝します。どんな中でもイエス様に従いぬいて、真理に従いぬきたいです。

しゅろ ひ
棕櫚の日



せいしよ
聖書
てーま
暗唱聖句

マタイ 27・45～56

じゅうじかじょう
十字架上のイエス

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。

マタイ 27・46

めく びょう
目標

みが じゅうじか いみ し
身代わりの十字架の意味を知り、
キリストを信じて救いを得る。

3 月 28 日 (日)

せいしよ
聖書
せいしよ
聖句

マタイ 27・45～56

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

今年も受難週を迎えました。復活祭は4月4日です。その準備のようにして、今週、イエス様の十字架上の七言を暗誦し、心に刻みつけましょう。一つ一つのみ言葉が「わたしのため」と思って味わいましょう。

きょうのみ言葉は第四言で、ちょうど真ん中の、まさに中心的なものです。わたしや全人類の罪とのろいを本当に背負われたイエス様が、身代わりに神様から完全に捨てられてくださった、その証拠のようなみ言葉です。

いの 祈り 天のお父様、わたしに代わって捨てられてくださった主を感謝いたします。捨てられない者としてくださり感謝感激です。

3 月 29 日 (月)

せいしよ
聖書
せいしよ
聖句

ルカ 23・32～38

父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。 34節

第一言です。十字架のふもととは、罪と汚れと、自己中心とねたみとの渦でした。イエス様をあざけったり、罵ったり、つばきをかけたり、また、イエス様の衣をくじ引きで奪い合ったりと、底のないような人間の醜い姿です。そこから少し高い、血にまみれた十字架の上に、身代わりについてくださった神の御子イエス様の愛にあふれた清いとりなしの祈りです。「何をしているのか、わからずにいるのです」と完全なパーフェクトなゆるしのお祈りです。

いの 祈り 天のお父様、イエス様のこの命をかけたとりなしのお祈りで、罪ゆるされ、救われ神の子としてくださり感謝です。

3 月 30 日 (火)

せいしよ
聖書
せいしよ
聖句

ルカ 23・39～43

あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。 43節

第二言です。なんと、十字架のふもとだけでなく、イエス様の両側の十字架につけられた強盗たちさえも、イエス様に悪口を言い続けました。「お前が神の子なら、そこから降りて、われわれも救え！」って。ところが、片方の人の心が変わったのです。きっと、あのとりなしのお祈りを聞いて、神の愛に打たれたのです。「み国の権威をもって来られる時、どうぞわたしを思い出してください」との彼の言葉に、第二言のみ言葉が語られました。

いの 祈り 天のお父様、全人類はイエス様の十字架で右と左の二つに分けられます。あなたを信じてパラダイスに行かせてください。

3月31日(水)



ヨハネ 19・23～27

「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」。…「ごらんなさい。これはあなたの母です」。 26～27節

第三言です。十字架のふもとにいた母マリヤ。その心はきっと張り裂けるような痛みでいっぱいだったでしょう。かつてシメオンが預言して言いました。「あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう」と。本当にその通りでした。その横に立つ愛弟子ヨハネと共に見ながら、母マリヤをヨハネにおゆだねします。その時からヨハネはマリヤの面倒を見るのです。十字架、神の愛のあらわれ、その十字架を中心に、神の愛の家族が誕生するのです。苦しみの中の主の思いやりです。

いの祈り 天のお父様、イエス様の十字架の愛によって結ばれた、新しい人間関係、神の家族を感謝します。祝してください。

4月1日(木)



ヨハネ 19・28～30

わたしは、かわく。

28節

第五言です。去年の夏もとても暑くて、よくのどが渴いたことでしょう。肉体のかわきは、十字架の上では、本当に大変なものだったと思います。イエス様がわたしに代わって、これほどの苦しみと渴きを味わってくださいました。何かをもってイエス様の渴きを潤してさしあげたいですね。イエス様は、わたしたちの愛に渴いておられます。わたしたちの清さに渴いておられます。救われる魂がつづいて与えられるよう渴いておられるのです。

いの祈り 天のお父様、小さいわたしたちももっとも聖書を読んだり、お祈りして、イエス様を愛する子どもにしてください。

4月2日(金)



ヨハネ 19・28～30

すべてが終った。

30節

第六言です。とても短い言葉ですが、とても力ある、勝利の叫びなのです。「完全になしとげました!」「完了しました!」「完成しました!」というみ言葉です。何がなしとげられたのでしょうか? わたしたち一人ひとりを、そして全人類を、罪から救う道、永遠の滅びから完全に救う「あがない」のみわざがなしとげられたのです! 誰でも十字架のイエス様を信じるだけですべての罪がゆるされ、永遠の命が与えられる素晴らしいあがないの完成です。

いの祈り 天のお父様、どの国の人にも、どの時代の人にも、信じるすべての人が救われるあがないの完成。ハレルヤです!

4月3日(土)



ルカ 23・44～49

父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。

46節

第七言です。父なる神様からの地上での使命、十字架によるあがないの務めをみごとに果たして、十字架上で言われた最後のみ言葉です。静かに、平安な思いで、「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」と。

地上での最後の時を、自分がいつ、どこで、どのように迎えるのかは、だれにもわかりません。年をとってから死ぬというわけでもないです。でもイエス様を信じているなら、いつでもどこでもこの祈りで心安らかに主のみもとへ行けますね。

いの祈り 天のお父様、イエス様はすべての面でわたしたちのお手本です。しっかりとつながって光の中を共に歩んでいきます。